

今まで通り

ケアハウスみどりの風・おかべ

ケアハウスみどりの風



施設概要

平成24年4月1日

静岡県藤枝市岡部町に開設

1階: ケアハウス(一般型6室)・デイサービス

2階3階: ケアハウス

(特定施設入居者生活介護36室)

介護職員 13名(常勤 8名 非常勤 5名)

看護師 2名



「地域を守る、地域で看取る」

生まれ、育ち、住み慣れた地域で、最後を迎えられるように、
法人全体で取り組んでいきます！

人権尊重は「丁寧」から←
安心提供は「ゆったり」から←
生きる喜びは「笑顔」から←

社会福祉法人至誠会の理念←

「ノーマライゼーション」

認知症などの障害をもっている人も普通の暮らし、
平穏な暮らしを実現します

実践目標←

- ① 健康管理と苦痛の除去←
- ② パーソンセンタードケアによる人権尊重←
- ③ リハビリによる身体能力の維持←
- ④ 自然死と平穏死←

介護目標←

目 標←	補 足←
自分がされたい介護を目指す←	自分に置き換えて、受けたい「言葉」「態度」「対応」を心掛ける←
施設は家庭の延長線上←	「わがまま」「こだわり」ができるような配慮や環境の整備←
介護施設は生活の場←	24時間その人にとって、充実している時間を過ごせるように←
地域でなくてはならない施設になる←	医療・認知症状で人を選ばず、地域の助けとなる施設←
業務ではなく、介護を行う←	経験・勘・度胸で介護を行うのではなく、理論と根拠に基づいた介護、 またその人との間に心を感じる介護←
自分達で問題を見つけ、考え、決め、改善する←	現状は常に50点。今以上の生活・業務環境になるように、改善の目を持つ←

はじめに...

介護とは

究極のサービス業

本人の気持ちに寄り添うこと

平均年齢

令和5年3月時点

89.36歳

大切にしていること

思いやる気持ち、心
対話、コミュニケーション
個別に合わせた支援.....



仕事に**プライド**を持つ

事例報告 入居者A様

平成24年4月に入居

92歳女性

性格 穏やかで読書が好き

甘い食べ物、冷たいレモンティー等が好き

日中はフロアで本や新聞を読み

適宜居室で休みながら過ごされる



異変に気付く

[4月19日の夕食]

いつもに比べ進み具合が悪い？

なんとなく活気がない？

声掛けに対しての反応が鈍い？

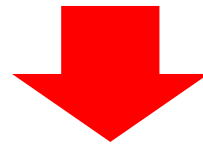
自力摂取に時間がかかる？



医療連携

翌日理事長へ報告→三輪医院受診
24日、検査目的で藤枝市立HPへ緊急入院

→直腸癌、頭部に腫瘍が見つかり状態低下
→体力的に手術は困難



生活意欲の低下から「**老衰**」状態となる

病院の医師より

治療目的ではなく痛みや苦しみを和らげながら支える**緩和ケア**の提案を受ける

家族の思い

「住み慣れたみどりの風に戻りたい」

入院期間17日。5月10日退院が決まる

退院を前に

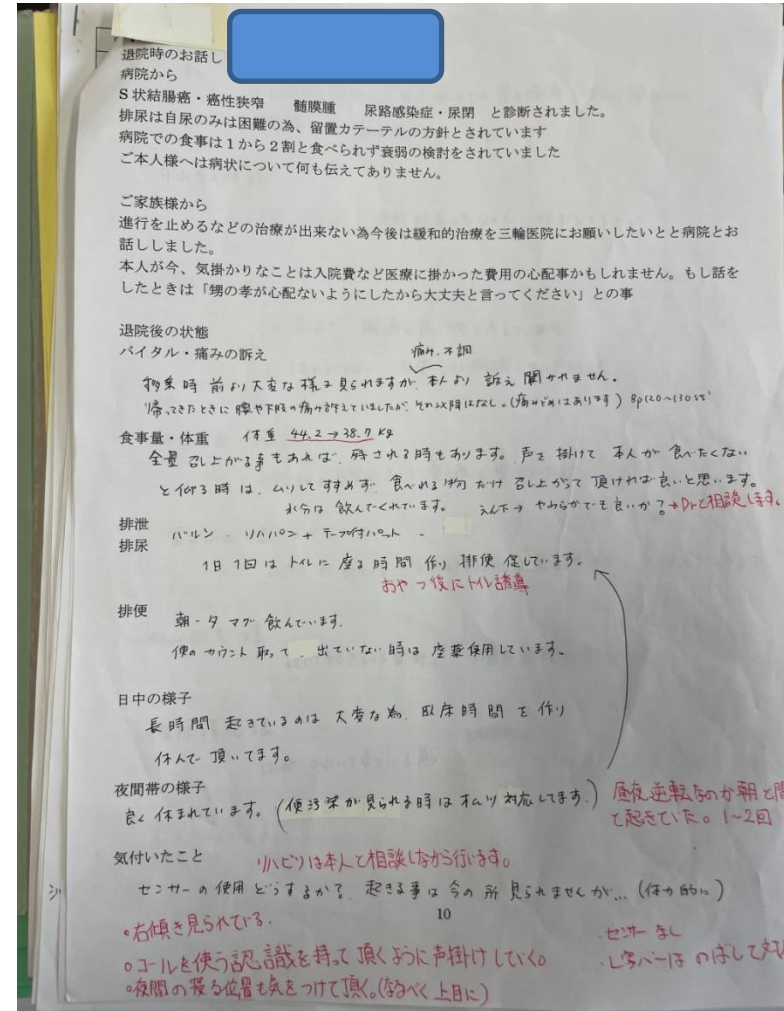
緩和ケア

みどりの風で何ができるのか

カンファレンスにて情報共有

治療の場 → 生活の場

「今まで通り」



退院 ケアハウス(自宅)に戻る

【病院では】

食事水分摂取が少ない

排泄量も少ない

17日間で体重－5kg

病院からの移動で疲れ切った様子

座位姿勢不安定

発語もままならない



退院後の様子 2日目以降

3食離床
体操への参加
排便時のトイレ誘導
臥床時間を設ける



とにかく本人と関わり**話す**機会を多く持つ

[声掛けから期待されること]
馴染みの空間
顔見知りの職員
聞いたことのある声

身体機能 6月15日～現在 ※機能訓練士

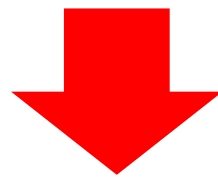
身体機能状況

身体は疲れやすくなっている体力的に落ちている

介助にて立ち上がり訓練可

車椅子座位にてグループ体操可

体操がない場合は居室にて**会話**をしながらリラクゼーション実施



食事摂取動作が自力にて行えるようになった
美味しく食べている



食事 6月15日～現在 ※管理栄養士

退院後数日

摂取量にムラあり

好みの嗜好品提供

カスタードケーキやポカリ、レモンティー



6月2日よりえんげ食からやわらかへ食上げ

摂取量、体重に大きな変化はないが本人の食事に対する**意欲**や**満足度向上**

ケアハウスの役割

安心安全な環境で、穏やかな日々をいつまでも
主役は本人「やりたい」を決してあきらめない。
介護の専門性を駆使して思いを引き出す
本人らしさの継続

声を掛けること(質や量)の大切さ

安心の提供

馴染みの関係

居場所の確保



本人の気持ちに寄り添いケアをしたい

全ては気持ちに寄り添う事から始まる
特別な事をするのではなく
寄り添うことで気づきが生まれ支援が動き出す

A様の病状は何れ進行するかもしれない
だが、その人らしさはいつまでもそして最期まで...

身近で支えるのが家族であり私たちでもあると思う

なぜなら

寄り添うケアは

「人」にしかできないから



ご清聴ありがとうございました

